

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

事務事業名	男女共同参画推進行動計画策定事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	総務部	課長名 岩田 建一
	施策	12	人権が尊重される社会づくり		所属課	総務課	担当者名 末永 大樹
施策の柱	45	男女共同参画社会の実現		所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1217	
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 15	事業連番 11653	根拠法令 男女共同参画社会基本法 合志市男女共同参画まちづくり条例	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 2 ~ 3 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	【前年度内容】男女共同参画社会の実現を目指すために、男女共同参画推進の指針となる「第3次合志市男女共同参画推進行動計画～パートナーシッププラン・こうし～」を策定する。事業期間は、27、28年度。平成27年度に「合志市男女共同参画に関する市民意識調査」を実施し、平成28年度に男女共同参画推進懇話会や男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等で内容を協議し、「第3次推進行動計画」を策定した。27年度に市民意識調査業務委託を行い28年度に計画策定業務委託を行った。行動計画期間は、平成29年度～33年度の5年間であり、5年ごとに策定する事業である。「第4次行動計画」については、平成32年度に市民意識調査業務委託を行い33年度に計画策定業務委託を行う予定である。
【業務の流れ】	【前年度内容】①支援コンサルタントの選定、委託契約。②市民意識調査の実施。③市民意識調査の結果を基に、男女共同参画推進懇話会、男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等による協議。④計画策定支援業務委託 ⑤パブリックコメントで市民に意見を募る。⑥パブリックコメントの意見を再度、男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等で協議。⑦計画策定。
【主な予算費目】	【前年度内容】委託料
【意見や要望】	【前年度内容】

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	①手段(30年度実績)	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【前年度内容】計画策定支援業務委託の実施		【前年度内容】
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→		【前年度内容】
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
第3次男女共同参画推進行動計画		(単位)
→		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
基本目標に添って策定できる		(単位)
→		
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
男女共同参画社会の形成に繋がる		全体計画
		～3年度
		2,226

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア									
	イ									
②対象指標	ア									
	イ									
③成果指標	ア									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,699						
	人件費	(A)事業費計	千円	2,699	0					
		(A)のうち指定経費	千円	0	0					
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0					
		正規職員従事人数	人	3	3					
	延べ業務時間	時間	160	160						
	(B)人件費計	千円	0	632						
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,699	632						

事務事業名	男女共同参画推進行動計画策定事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 【前年度内容】計画策定支援業務委託を行うことで目標は達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】平成33年度までに計画を策定するものである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【前年度内容】男女共同参画推進行動計画作成の事務事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】計画策定までの必要経費であり削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】計画策定までの必要な人件費であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】市の男女共同参画推進のための計画書であるため、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 【前年度内容】市が計画書策定することとなっているため、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

【前年度内容】平成27年度に市民意識調査は実施したが、回収率が33.9%と低かった。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						